

昨年8月の大雨で路肩決壊以来車両通行止めが続いて鹿島林道は、修復工事のためシーズンに入っても引き続き全面通行止めになりました。修復は初冬までかかるようで、登山者は9.4キロを歩かなければならない。登山者の苦勞もさることながら、当会の炊事棟工事用資材運搬は絶望的で、ヒュッテにある材料での施工だからやる事は限られます。大幅に遅れるのは決定的です。またヒュッテ管理人の交代ですが、長期に一人が管理出来る体制でない細切れの服務で、しかも高齢者が主流を占める我が会としては林道の歩行移動は困難を極めます。しかし我会の最大の特徴であるネバーギブアップ精神で乗り切りましょう。我が会が例年実施してきた行事も全て実行します。

人間利便さになれると後戻りできないのは歴史が物語っています。古い時代の山小屋建設を思ってみて下さい。人力で資材を運び電動工具など無しで建てました。それを思つとなんその。ちなみにマウンテンバイクでヒュッテ下のトイレまで55分でしましよう。

夏山シーズン初めに思ひついで  
代表 藤井 純一

倒れ、これが暗渠に詰まったらまた大変なことになるので、ヒュッテ開きの翌日処理しました。

登山道にはクマザサ、ハイマツ等の繁茂があり登山者を脅かしています。これも悩ましい問題ですが、クマザサ、ハイマツが人間に危険だということよりも、高山植物にどのような影響を与えているか考えるべきだと思います。木道は登山者の為にあるものではありません。結果的には登山者の歩きやすさにつながりますが、登山者の踏み付けが植物や土壌にダメージを与えないために設置されているのです。前事務局長が登山靴でなくゴム長靴で登山するのは植物を護るため、土壌を護るためです。人間歩きやすいところを歩くのが常で、湿地のところは登山靴の汚れを嫌い脇の植物を踏みつけて歩きます。次々と何本もの踏み跡ができてしまします。皆さんも植物・土壌のことを思い、ダメージを与えない歩き方をしましよう。靴は洗えばきれいになります。高山植物の上に腰をおろしたり、寝そべって休んだのは大昔の話です。花の名山として有名になって登山者が多くなっている近年、皆がそのようなことをしたらどうなるのか、鹿島林道を歩きながら登山のあり方などゆつくり考えてみましょう。

夏山シーズン初めに思ひついで  
代表 藤井 純一

倒れ、これが暗渠に詰まったらまた大変なことになるので、ヒュッテ開きの翌日処理しました。

登山道にはクマザサ、ハイマツ等の繁茂があり登山者を脅かしています。これも悩ましい問題ですが、クマザサ、ハイマツが人間に危険だということよりも、高山植物にどのような影響を与えているか考えるべきだと思います。木道は登山者の為にあるものではありません。結果的には登山者の歩きやすさにつながりますが、登山者の踏み付けが植物や土壌にダメージを与えないために設置されているのです。前事務局長が登山靴でなくゴム長靴で登山するのは植物を護るため、土壌を護るためです。人間歩きやすいところを歩くのが常で、湿地のところは登山靴の汚れを嫌い脇の植物を踏みつけて歩きます。次々と何本もの踏み跡ができてしまします。皆さんも植物・土壌のことを思い、ダメージを与えない歩き方をしましよう。靴は洗えばきれいになります。高山植物の上に腰をおろしたり、寝そべって休んだのは大昔の話です。花の名山として有名になって登山者が多くなっている近年、皆がそのようなことをしたらどうなるのか、鹿島林道を歩きながら登山のあり方などゆつくり考えてみましょう。



**第105号**  
2017.7.1 発行  
(平成29年)  
ユウパニコザクラの会  
事務局  
〒068-0412  
夕張市鹿の谷東丘町3 水尾方  
TEL/FAX 0123-52-3306  
事務局長 菊地宏治(江別市)  
TEL/FAX 011-387-1385  
E-mail  
Kohji.kikuchi@gmail.com  
ホームページ  
http://yuparikozakura.org/  
ようこそ花の夕張岳へ



倒木処理

今季の夕張岳登山口へは車では入れません。登山計画に当たって歩行2~3時間の余裕を見込んでください。又工事車両などの復旧作業に支障のないように通過してください。

～ 林道ゲート閉鎖 ～

夕張岳への鹿島林道は、昨年8月北海道を通過した台風の大雨によって、2.6km地点で路肩が決壊したため登山車両通行は禁止となっております。花の名山として全国に知られた夕張岳へのルートですから、森林管理署は鋭意復旧へ取り組んでいることでしょう。復旧工事が無事故で終了されるよう登山者一同で祈念し応援しましよう。


●●●●●●●●●● ● 今後の活動予定 ●●●●●●●●●●

- 7月…………… 第2回森林パトロール
- 7月22～23日… 自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業(下記参照)
- 8月…………… 第3回森林パトロール
- 9月2～3日 …… 北海道自然保護連合交流会
- 9月…………… 第4回森林パトロール 高山植物パトロール
- 10月…………… 第5回森林パトロール ヒュッテ冬終い

第1回 自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業参加者募集のお知らせ

記憶に残そう ふるさとの山 夕張岳

僕も私も新しいヒュッテに泊まって 夕張岳の大自然の中で思いっきり遊びましよう

日 程	平成29年7月22日(土)12時～23日(日)午後3時まで	集 合 場 所	夕張市清水沢お買物駐車場 12時
会 場	夕張岳ヒュッテ周辺 及び 夕張岳馬ノ背分岐地点	申し込み先	ユウパニコザクラの会事務局 TEL/FAX 0123-52-3306 夕張市鹿の谷東丘3番地 水尾 君尾
参加対象	子供、小中高生(小学生以下は保護者同伴)	主 催	自然と文化を学ぶ 地域次世代間交流事業実行委員会
参加費	無料(成人のみの参加は千円)	後 援	夕張市教育委員会
食 事	1日目の夕食 2日目の朝食、 昼のお弁当をこちらで用意します。	※この事業は「幸福の黄色いハンカチ基金」の助成を受けています。	
装 備	帽子、手袋、水筒、おやつ、保温用セーター 上下別々の雨具、リュックサック		
募集人数	30名		
募集期間	7月12日(水)まで		

事業内容	
<1日目>	<2日目>
① 体験学習 林道ハイキング ヒュッテまで (約9km 約3時間)	① 夕張岳登山 馬ノ背分岐点を目指す
② ロープ遊び ③ コースター作り	② 体験学習 ヒュッテ周辺遊び
④ 山の先生のお話 夏の星座を観察	③ 流しソーメン
小雨決行・天候の状況によりヒュッテの中で夕張岳やお花の写真投影等に変更	

会費の継続納入・ご寄付  
ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコザクラの会へ入会又はご寄付をよろしくお願いたします。

年会費 2,000円 家族会費 3,000円  
名 義：ユウパニコザクラの会  
ゆうちょ口座：02780-9-43747

引き継ぎ 夕張岳ヒュッテの維持と炊事棟建設にご支援を!!

平成29年4月1日～6月30日現在  
11口 76,400円 ありがとうございます。

今シーズンから炊事棟で流し台が使える様にしました。トイレ棟も快適きれいに改良しました。炊事棟の内装はまだまだ作業が続きます。これからもヒュッテの維持と合わせて資金を要しますので、今後ともご支援をお願いいたします。

名 義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会  
ゆうちょ口座：02750-6-97634



### 創立30周年へ向けて

### 第29回総会開催

### 役員改選・会則改定

5月13日(土) 清水沢市民研修センターにおいて、高野会員を議長に選出して、平成29(2017)年度の総会を開催し、昨年度の事業・会計報告、新年度の活動計画・予算案や役員改選・会則の改定案などが審議承認されて新たなスタートをきりました。

従来の「旧産炭地域子ども交流事業」(がらばれ北の大地・夕張応援基金)は、「自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業」として継続されます。

現行の会則について、法令慣用語及び様式に修正し、

かつ、細則として規定されている条項を本則に編入整理し、現状に即した会の運用に適合するようにしました。



総会風景

### パトロール登山での二コマ

### 会員 伊藤 泰弘

テを出発。草露に濡れながらの登山。第一休憩所としている「しなの木平」の話。「この花は何でしたか?」「伊藤さん、毎年聞いてますよ。それはズダヤクシユ。喘息に効く薬草。女性陣からの突っ込みを受けたので帰宅して調べてみると漢字で喘息薬種と書く。長野県地方などで喘息時に服用していたらしい。でもよくこの花が喘息に効くと分かったよ。そもそも薬のとは植物でした。植物って偉いですね。」

石原平では行者ニンニクの香りがプンプン。そんな中ロープ張り。木杭の一部が折れており交換要でした。それでもロープ張りは何とか終了。望岳台のロープ張りを終えると前岳雪渓が待っている。今年は例年よりやや少なめか。この雪渓が固くしまっている場合、足キックが食い込まないことがあるので、私は毎年ロープ張りの時季はピッケルを持って行く。でも今回は大丈夫だった。

蛇紋岩崩壊地のロープ張りはコザクラを見ながらだった。今年は一つの株に八輪ほどの花。見事である。一四〇〇m湿度は残雪が多くロープ張りは次回とした。吹き通しのロープ張り時、登山客が1名。国道から歩いてきたらしい。ユウバリソウはまだ赤ちゃんでした。見頃は6月下旬でしょうか。

無事ロープ張りを終えて下山は馬の背コースとした。倒木が登山道に牛の如く横たわっていた。これには閉口。ちよつと跨ぐこともできず、枝にやられないよう慎重に横を通り過ぎた。

そんなこんなで今年もロープ張りを無事終えて夏山シーズンを迎える準備ができたのだが、今日はまだ約9kmの林道歩きの仕事が残ったのだ。



### 高山植物パトロールと

### 官民合同パトロール

### 会員 秋元 和之

物を受てつ、鹿の食害もあわせてそれぞれのポイントで状況を確認した。

石原平のシラネアオイの群生に目を奪われながら杭の交換補修や、前岳湿原周辺の笹刈り、アサツキ湿原の崩壊した木道を道職員との調査し現状と改善への共通認識ができた有意義な活動ができた。

登山道の倒木は別働隊がチェーンソーを使って最小限の処理をして、快適・安全な登山道を確認することができた。

ユウバリコザクラ、シソバキスミレ、ユウバリソウ等固有種をはじめ多くの高山植物を守るために、今年も微力ながらパトロールに精を出したい。



### 6月10日(土) 市民研修会

北海道山岳連盟理事長・道山岳遭難防止対策協議会副会長の明田通世さんを講師に向かえ、「山岳事故と安全登山について」という標題でお話をいただきました。

内容は初心者向けの内容でしたが、ベテランでも陥りやすい事故のリスクに結びつくものばかりで、基本の大切さを考えさせられます。スマートフォンアプリでもGPSを使用できるようになっており、それらの最新情報などもご紹介いただきました。



明田通世氏

### 6月17日(土) 夕張岳ヒュッテ開き

昨年の8月北海道を通過した三つの台風の余波で林道の一部が崩壊し、その直後から今も林道は車両通行止めが続いています。そのため今年は、林道ゲートからヒュッテまで約9kmを徒歩による移動となりました。

このような状況の中、夕張市教育委員会の今教育長の代理として高橋係長にご出席いただきました。ユウバリコザクラの会の藤井代表の挨拶に始まり、夕張市教育長代理の高橋係長が、夕張市唯一の国指定の天然記念物「夕張岳の高山植物群落及び蛇紋岩メランジュ帯」にふれてお話をいただき、夕張岳ヒュッテ管理委員会の長谷川委員長の挨拶と続きました。最後に今年の夕張岳の安全登山を祈願しての乾杯でまられました。

### 「ここはわたしの天国だ」

### 上映会

### 会員 阿部 博子

制作はむかわ町(旧穂別町)の町民で構成される「田んぼdeミュージカル」委員会。

驚くのは最高齢93歳、平均年齢が80歳という方々が映画を制作していることです。過去に4作、本作「ここはわたしの天国だ」は第5作目にあたり、3部作になるそうです。

5月13日、夕張市民研修センターでその第一部「紅い花 白い花 咲きみだれ」林業編が上映されました。

映画は樺太から引き揚げてきたシンという少年が養父と共にバイオリンを弾いてわずかなお金を得ながら旅をしている様子から始まります。やがて養父は病気で亡くなり、少年は窮地から救ってくれた人々の中で成長し彼らと同じ林業の仕事に従事します。

設定は洞爺丸台風が起きた1954年(昭和29年)。倒木処理に携わる作業員たちの飯場でのシーンが印象的



斎藤征義氏ら撮影秘話を語る

す。減反、過疎、合併に揺れる地域に住みながらも、その場所にしっかりと根ざし生きて行く人々の映画です。歌や踊りを交えたコミカルなミュージカル仕立てになっており、重いテーマが進行しつつも映画そのものは楽しく観ることができました。

脚本の斎藤氏、制作進行担当の中澤氏のお話の中で、飯場のソララがなかなか出来なかつたなど、冬の情景を作り出すのに苦労したことが語られていました。

第2部では大人になったシンが歌手になる部分や描かれるようです。映画の中のひと々と再び会えることを楽しみにしています。

旧穂別町も2006年(平成18年)に鶴川町と合併して「むかわ町」になりましたが、北海道はこれからも過疎、合併は避けられない現実です。景気回復が遅れている道内に住む自分も時に気持ちが悪く、うらやますることがありますが、むかわ町の元気なお年寄りの姿を思い起こし勇気を出して前を向いて進んで行くことを励まされました。



制作はむかわ町(旧穂別町)の町民で構成される「田んぼdeミュージカル」委員会。

驚くのは最高齢93歳、平均年齢が80歳という方々が映画を制作していることです。過去に4作、本作「ここはわたしの天国だ」は第5作目にあたり、3部作になるそうです。

5月13日、夕張市民研修センターでその第一部「紅い花 白い花 咲きみだれ」林業編が上映されました。

映画は樺太から引き揚げてきたシンという少年が養父と共にバイオリンを弾いてわずかなお金を得ながら旅をしている様子から始まります。やがて養父は病気で亡くなり、少年は窮地から救ってくれた人々の中で成長し彼らと同じ林業の仕事に従事します。

設定は洞爺丸台風が起きた1954年(昭和29年)。倒木処理に携わる作業員たちの飯場でのシーンが印象的



例年通り、6月17日のヒユッテ開きに先立ち、一週前の11日に登山道整備に入りました。ロープ設置などの作業がメインですが、花の夕張岳です。開花状況も気になるところです。冷水沢コース登山口までの道では、ズダヤクシユやクルマバソウが咲きだしています。いつもならこの時期はまだ咲いていないのですが、今年は開花が早かったようです。樹林帯の残雪も少なく雪解けは早く進んだようです。鮮やかなピンク色のムラサキヤシオも咲き始めています。馬の背分岐から尾根を登って行くとシラネアオイの姿が見られるようになります。開いたばかりの優しい色の花卉が風に揺れ心癒されます。

石原平(せきげんだいら)のシラネアオイ群落は満開にはやや届かない感じですが、見頃とも言える開花状況です。ロープの設置作業を済ませて先を進みます。今年はスミレの当たり年のようで、ケエソキスミレが例年より多く目につきます。加えてここ数年目にしなかつたウスバスミレの姿もみられます。毎年同じものが同じ数だけ咲くわけではなく、こうして毎年登っているとその違いに気が付きます。

前岳のトラバース部分の雪渓をやり過ごし稜線へ上がりまゝ。次のロープ設置箇所は蛇紋岩崩壊地です。蛇紋岩が露出している所で、ここにユウパリコザクラが咲いています。樹林帯の開花状況からすると木道付近は終わっているかもしれないと思いましたが、ちょうど見頃の状態で、その愛らしい姿にメンバーの顔がほころびます。

ロープを設置して稜線を進みます。湿度ではシロウマアサツキの葉が順調に成長しています。一四〇〇m湿度はまだ雪で埋まって、木道脇でキバナシヤクナゲが咲いています。開花が早い春一番さんの高山植物です。

釣鐘岩と熊ヶ峰の間の急斜面はまだ雪渓がたつぷりです。滑り落ちないように気を付けます。今年も紫色のシヨウジヨウバカマとミヤマスミレが出迎えてくれました。笹の回廊を進んで行くとユウシロも咲き始めます。ユウバリソウはまだまだ数少ない黄色の花はどちらも咲き始めます。ユウバリソウはまた場所では開花が遅れたのかもしれないかもしれません。

### 春の夕張岳 開花が遅れたユウバリソウ

6月11日・18日 会員 阿部 博子

さて、一週間後のユウバリソウはどうなっていることでしょうか。18日は高山植物パトロールで再び夕張岳に登りました。樹林帯では開花が進みズダヤクシユもクルマバソウも満開です。ムラサキヤシオも見頃を迎えオオカメノキもちらほら咲き始めています。石原平のシラネアオイ群落は年に一度の晴れ舞台。何度眺めても良いものです。

稜線へ上がるとミヤマキンボウゲもわずかに咲きだしていますが、夏の花を楽しむにはまだ少し早いです。蛇紋岩崩壊地のユウバリコザクラは木道周辺のものには終わっていますが、沢の斜面では雪が解けた所から順次咲き始めています。木道からは遠くなりますが、まだまだ楽しめることでしょうか。個体数は少ないもののシノバキスミレの姿も見ることが出来ます。一四〇〇m湿度は杭の頭が出てきたとはいえず、まだ雪に覆われています。

急斜面の雪渓を登り、吹き通しへ向かいます。吹き通しの手前ではタカネグンバイ、エゾノハクサンイチゲ、アイヌタツツボスミレなどが咲き競っています。風衝地の吹き通しではナンブイヌナズナが満開、ユウバリキンバイがややピークを過ぎた感じですが、ユウバリソウは七分咲き、フレッシュな花姿に歓声が上がります。満開になると花穂の下部が茶色に変色してしまうので、今が一番の見頃かもしれません。

今日は山頂を目指します。吹き通しを過ぎて登り始めると再びタカネグンバイの姿があります。高山植物とはいえず風衝地では咲けないのか、いつも風衝地の前後でハイマツに守られています。ハイマツの下にはミヤマカタバミの姿もあります。急な斜面をジグザグに20分ほど登って行くか山頂直下、エゾノハクサンイチゲの群落です。ややピークを過ぎた満開状態です。キバナシヤクナゲは終盤ですが、まだ見頃の個体も近いです。祠からわずかに登ると夕張岳山頂です。山頂付近にはミネヤナギが咲き、長い雄しべが陽を浴びてキラキラと光っています。山頂からは、やや霞が掛かっていますが声別岳と周辺の山々、十勝連峰が望めます。そよ風が気持ちの良い山頂で休憩をとったのち下山開始。再び夕張岳の春の花々を楽しみながらヒユッテへと戻りました。



類似山岳とアポイ岳ファンクラブ主催の登山会に参加しました。登山前日は研修会。講演をしてくださったのは日本画家の水野剛志氏です。アポイ岳を描いた日本画の作品が紹介されました。日本画というのは古画のことだと思っていました。絵画のひとつのジャンルとこのことでした。日本画の絵具は自然素材。たとえば綺麗な青色は藍銅鉱やラピスラズリなどの石を使うようです。寶石で作る絵具、なんて素敵なのでしょう。水で薄くのばした絵具を何度も重ね塗りして出来上がった日本画は素朴で慎ましい雰囲気を感じ出しています。翌日の登山は水野氏も一緒されました。天気予報は好転せず、雨も止みません。ピンネシリからの縦走登山は中止になり、アポイ岳に登ることになりました。幸い濃霧が立ち込めているだけで雨は降っていないようです。レインウエアを着込んで元気に出発です。登山口へ向かう道で早くもハクサンチドリが咲いています。小川で靴底を洗って外部の植物が入り込まないようにします。登山口付近はエゾオオサクラソウがたくさん咲く場所ですが、もうすでに花が終わっています。五合目までは咲いている花が少なく寂しいですが、何もないわけではありません。セリ科の植物が現れました。アポイには二つのハクサンボウフウがあります。葉が細く裂けるエゾノハクサンボウフウとハクサンボウフウの違いを教えてくださいました。五合目ではエゾヤマトツツジが見頃を迎えています。小屋で休憩したのち、いよいよ花畑を目指して急な道を登って行きますが、高山植物が姿を現し始める所です。ユニークな名前のヒロハヒノボスの黄色い花が咲き始めています。足元にはややピークを過ぎたアポイタツツボスミレの姿が見られます。エゾシモツメがキラキラしています。アポイアズマギクの姿も増えてきます。やがて七合目の標識が見えてくると花畑は目と鼻の先です。



登山前日は研修会。講演をしてくださったのは日本画家の水野剛志氏です。アポイ岳を描いた日本画の作品が紹介されました。日本画というのは古画のことだと思っていました。絵画のひとつのジャンルとこのことでした。日本画の絵具は自然素材。たとえば綺麗な青色は藍銅鉱やラピスラズリなどの石を使うようです。寶石で作る絵具、なんて素敵なのでしょう。水で薄くのばした絵具を何度も重ね塗りして出来上がった日本画は素朴で慎ましい雰囲気を感じ出しています。翌日の登山は水野氏も一緒されました。天気予報は好転せず、雨も止みません。ピンネシリからの縦走登山は中止になり、アポイ岳に登ることになりました。幸い濃霧が立ち込めているだけで雨は降っていないようです。レインウエアを着込んで元気に出発です。登山口へ向かう道で早くもハクサンチドリが咲いています。小川で靴底を洗って外部の植物が入り込まないようにします。登山口付近はエゾオオサクラソウがたくさん咲く場所ですが、もうすでに花が終わっています。五合目までは咲いている花が少なく寂しいですが、何もないわけではありません。セリ科の植物が現れました。アポイには二つのハクサンボウフウがあります。葉が細く裂けるエゾノハクサンボウフウとハクサンボウフウの違いを教えてくださいました。五合目ではエゾヤマトツツジが見頃を迎えています。小屋で休憩したのち、いよいよ花畑を目指して急な道を登って行きますが、高山植物が姿を現し始める所です。ユニークな名前のヒロハヒノボスの黄色い花が咲き始めています。足元にはややピークを過ぎたアポイタツツボスミレの姿が見られます。エゾシモツメがキラキラしています。アポイアズマギクの姿も増えてきます。やがて七合目の標識が見えてくると花畑は目と鼻の先です。

### 「第11回アポイ岳安全登山・盗掘防止研修会」 兼アポイ・ユウバリ交流学习登山会

6月3〜4日 様似町

花畑にはアポイアズマギク、ヨツバシオガマ、チシマキンレイカ、エゾヤマトツツジ、そして薄紫色のアポイクワガタは水の粒を身にまとい、アメシストさながらの美しさです。もう一つ見頃を迎えているのは準固有変種のアポイセキシヨウです。小さい花なので見逃さないようにしないといけません。八合目、九合目も花が溢れる場所です。お馴染みのサマニキワリ、エゾキスミレ、ヒダカイワザクラは概ね終わっています。山頂が近い辺りでまだ綺麗に咲いているサマニキワリに遭遇し写真を撮ります。七合目、九合目は急な登りですが花を追っているとあつと山頂に着いてしまつたのです。

山頂で昼食をとり、下山は幌満の花畑へ降りまゝ。ここもアポイアズマギクがたくさん咲いています。その中にチシマキンレイカやサマニキワリの残り花、小さなカマヤリソウの姿もあります。そしてヒダカソウが一輪咲いています。生息地の変化なのか個体数が減ってしまったかに加え、相次ぐ盗掘により登山道で見られるヒダカソウはわずか数株です。悲しいことですがアポイ岳は花の山であるがゆえに盗掘の被害が絶えません。幌満から八合目へ向かうトラバース道では、下では終わっていたエゾオオサクラソウの愛らしいピンク色の花に歓声があがります。

しつとりとした樹林帯のトラバース道はやがて登ってきた登山道に合流します。相変わらずの濃霧ですが、雨ではないのが救いです。八合目、七合目の花々にお別れを言い下山の途に就きます。研修センターに戻ると、温かい素麺と類似産の苺が用意されていました。いつもたくさんのおもてなしに感謝するばかりです。アポイ岳は。花好きにとっては宝のよつな山です。これからもこの山の自然が守られて行くことを心から願っています。

### 会員 菊地 宏治

「第11回アポイ岳安全登山・盗掘防止研修会」に参加してきました。この研修会はアポイ岳ファンクラブとユウバリコザクラ会の交流学习登山会を兼ねています。今回はコザクラ会から6名が参加しました。研修会の内容は日本画家の水野剛志さんより「絵を描くことで知った北海道の山、風景」というタイトルで約50分の講演をいただきました。その後、夕食懇親会で温かく迎えていただき有益な交流ができました。翌日、心配されていた天気は霧雨となりピンネシリからの縦走は無理と判断してアポイ岳の往復の登山会に変更になりました。花のピークを迎えたアポイ岳に登るのは久しぶりです。歩き出しから雨具の装着をしてスタートします。一合目からちらほらと花があり、ファンクラブメンバーの方の解説のもと写真の撮りながら歩きます。眺望ポイントでの景色は望めませんでした。その分足元に咲く花々をよく見られたと思います。五合目からは部分的に急斜面になりますが足元はしっかりしています。馬の背コースから分岐を通り頂上に向かいます。帰りは幌満お花畑経由で分岐に戻りました。貴重種のヒダカソウも終わりかけでしたが一輪確認することができました。これからもこのような交流会は大事にしていく必要があると思いました。





会員 菊地 宏治

恒例となった春の夕張岳積雪状況調査に行ってきた。移動日であった前日の土曜日から好天の予報で気分も上がり。日曜日はヒュッテを6時に出発。冷水コースにあるHawitacの冬道誘導標に沿って分岐の100m手前で馬の背コースにのりま...

夕張岳春のパトロール

3月11~12日

雪の林道歩きクマゲラがお出迎え

本峰頂上を目指したいのですが、低温の割には雪が重たく20~30cmのラッセルでも足にかかる負担が大きく、11時の引き返し予定時間までには頂上は無理っぽくなり...



雪原を行く

最初は気にならなかったザックの重さが徐々にこたえてきます。加えて靴擦れが始まってきた。時々休憩をとりエネルギー補給をしながらも黙々と歩きます。とにかく歩かないことはヒュッテに着かないのですから。黙々と歩き続けているとやがて仮設トイレが見えてきました。最後のゲートを過ぎてもうひと踏ん張り、靴擦れの痛みを堪えながら急なジグザグを登って、冷水コース登山口の案内板を過ぎると赤と青の屋根が見えてきました！



ペンケモユーパ口の流れ

会員 阿部 博子

毎年3月に実施する夕張岳春山パトロールにサポーターとして参加しました。11日土曜朝8時、夕張市清水沢に集合し、メンバーと一緒に出発。国道45号線を走りシユーパロトネルを抜けると、シユーパロ湖の向こうに真っ白な夕張岳と周辺の山々が望めます。夕張国道は夕張岳の展望台とはいえ、これほど美しい夕張岳をいつも眺めることができるわけはありません。

会のうごき

- 2月 15日 コザクラだより104号 発行
25~26日 ヒュッテ雪下し 5名
3月 11~12日 夕張岳春山パトロール兼スノーモービル痕調査 5名
26日 記念誌編集会議 9名 役員会 8名
28日 シューバ口湖面活用意見交換会出席 1名
4月 4日 市教育委員会訪問 ヒュッテ規約改正について 2名
13日 役員会 北大インフォメーションセンター 6名
20日 市教育委員会、空知総合振興局訪問
夕張岳パトロールについて打合せ 1名
21日 空知森林管理署長訪問 代表他 2名
23日 役員会 ミーティングルーム 7名
5月 1日 北海道高山植物保護ネット代表者会議出席
北大環境研究所 3名
13日 第29回総会 市民研修センター 15名
13日 上映会・講演会「ここはわれらの天国だ」
脚本家斎藤正義 他 入場者60名
25日 役員会 北大インフォメーションセンター 5名
27日 北海道自然保護連合代表者会議出席
エルプラザ 1名
28日 5~28日ヒュッテ開設関係諸作業 延26名
6月 3~4日 アポイ~ユウバリ交流研修登山会参加
様似町 6名
5日 夕張岳関係者協議会出席 夕張市役所 4名
6日 幸福の黄色いハンカチ基金プレゼンテーション
市民研修センター 2名
10日 市民研修会「山岳事故と安全登山」
清水沢公民館 25名
講師:明田通世 道山岳遭難防止対策協議会副会長
11日 第1回森林パトロール、登山道補修作業 7名
17日 夕張岳ヒュッテ開き 15名 市教委1名
18日 高山植物パトロール、官民合同パトロール
空知総合振興局2名 当会9名
25日 空知管内3団体研修登山会 岨山 雨天延期
当会10名
6月3日~25日迄 トイレ改良・炊事棟作業 延24名

就任の挨拶

菊地 宏治



お引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。私は、6年前に当会に入会して会のホームページの維持管理を担当させていたきております。ボランティアパトロールやヒュッテの建設にも関わらせていただいております。

平成29年度総会におきまして、水尾君尾事務局長の後任として新しく事務局長に就任いたしました。来年で創立30年を迎える歴史ある自然保護団体の大役を

感謝をこめて 退任のご挨拶

水尾 君尾



夕張市は平成29年4月、財政破綻10年の区切りとして、財政再建と地域再生の両立を目指す夕張再生計画を公表し、全市民と共にふるさと再生へ一リスタートしました。正にこの時を同じくして、コザクラの会では第29回総会で事務局長の交代が決議され、創立30周年へ向けて再スタートするのは夢を見るように感慨無量です。

学生時代から「カニ族」として来ていた北海道が好きで、27年前に千葉県松戸市から江別市に移住してきました。思い返せばその頃から自然保護に興味があり、色々な関連書物を読んできました。自宅近くの野幌森林公園を分断する道路計画が持ち上がった時は、反対派勉強会にも参加しました。そのような経緯もありますが、前事務局長の水尾さんが夕張岳のスキー場計画に反対し、立ち上げたフロンティア精神には遠く及ばないところであり、夕張市民ではありませんが、今後は市民の方、藤井代表をはじめ会員の皆さまのご意見を聞き、想いを伝え合う「対話」と、実際に山に登り自然を体感し、大切さを実感する「参加」を大事にしながら会の発展に寄与したいと思っております。まだしばらくは現役サラリーマン生活をしながらの掛け持ちになります。皆さまの教を請うことや、不慣れな部分もたくさんありますが、一層のお力添えをいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。